

公益社団法人 日本認知症グループホーム協会
関東甲信越ブロック 第4回認知症グループホームの実践発表会
開催要綱

関東甲信越ブロックでは、ブロック地区において日頃の取り組みや実践発表の場として、また現場の職員の貴重な学びの場として、平成24年度から実践発表会を開催しています。これまで神奈川県、千葉県、埼玉県で行われ、今年は新潟県の開催で4回目となります。

日本認知症グループホーム協会では年に1度、全国各地で「日本認知症グループホーム大会」が開催されていますが、全国大会以外にも発表できる場の提供をしたいと考え、取り組み始めました。日頃の現場職員の実践の成果の発表や他のホームでの取り組みを聞くことで学びのきっかけにしていきたいと思えます。

第4回の新潟県開催では、特別講演会の講師として認知症介護研究・研修東京センターの研究部部長であられる永田久美子先生をお招きしています。

新潟県三条市ご出身の永田先生は、認知症ケアや地域生活支援などを専門として、多くの講演会で認知症の人との関わり方や地域での取り組みなど、分かりやすい言葉で優しく表現してくださっています。

今年1月公表の新オレンジプランでは、認知症グループホームが地域における認知症ケアの拠点として、積極的な地域とのつながりを期待されています。

永田先生のお話や現場職員の実践発表を通して、認知症ケアや今後のそれぞれのグループホームのあらたな取り組みについて共に考えましょう。

なお、実践発表会ではテーマを限定せず、日頃の実践を自由に発表していただきたいと思えます。

各支部の事務局を中心に参加者を募りますので、ぜひ多くの現場職員の参加をお待ちしております。

平成27年7月10日

公益社団法人 日本認知症グループホーム協会
関東甲信越ブロック長 佐々木 勝則

第4回認知症グループホームの実践発表会
実行委員長 山村 和宏